

日本ロールシャッハ学会主催 第17回 ロールシャッハ研修会

ロールシャッハ法の所見を考える

～深く理解し わかりやすく伝える～

このたび仙台にて第17回ロールシャッハ研修会を開催する運びとなりました。投映法は心の内側に光をあて、寄り添い追体験しながら深く相手を理解しようとしします。多くのその人らしさが浮かび上がってきますが、その一方で、それを相手にわかるように伝え、臨床に活かしていくことは難しいでしょう。中でもロールシャッハ法から得られる情報は深く豊かであるがゆえに、一見矛盾や複雑さを含みますが、そこにその人の困難が予想できます。分科会では、ライブスーパーヴィジョンに加えて、医療、司法領域の臨床実践をとりあげます。さらに、全体会で共有し、事例を通して、ロールシャッハ法から理解したことをどのように所見にまとめ、何を伝えていくかについて、より理解と学びを深めていきます。

今回は東北では初めての本研修会の開催となります。この時期の仙台はまさに「杜の都」にふさわしく、広瀬川のほとりから街中の木々が緑を増し、美味しい牛タンやホヤを楽しむことができます。大学院生の方にも参加していただきやすい参加費設定をしております。どうぞ奮ってご参加下さいますようお願い下さい。皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

2024年10月吉日 第17回ロールシャッハ研修会準備委員会

◇日程◇ 2025年5月18日(日) 10:00~16:15

◇研修会プログラム◇

9:30~10:00 受付

10:00~12:00 分科会 A 高橋 靖恵先生(京都大学大学院)

B 菅藤 健一先生(福島学院大学)

C 吉村 聡先生(上智大学)

12:00~13:15 昼休憩

13:15~16:15 全体会:ミニレクチャー 講師 加藤 志ほ子先生(南青山心理相談室)

司会 吉村 聡先生(上智大学)

分科会振り返り(各講師、事例発表者)・全体討論

進行 菊池 陽子(研修会準備委員)

◇場所◇ 東北福祉大学(仙台駅東口キャンパス)

〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26

交通アクセス: JR仙台駅 東口から徒歩3分 / 地下鉄東西線「宮城野通駅」徒歩3分 (P3の図参照)

※大学構内に駐車場、駐輪場はありません。お車で越しの方は各自会場周辺の有料駐車場をご利用ください。ただし、当日は青葉まつりが開催されますので、仙台駅周辺の駐車場は混雑が予想されます。また、一部市内の交通規制もありますので、事前にご確認ください。

◇分科会テーマ◇

A 高橋靖恵先生（京都大学大学院・油山病院）：「ライブスーパーヴィジョンを通して心理アセスメントの訓練・現場指導を考える」

心理アセスメントが適切に心理療法に活かされるためには、依頼に応じてテストバッテリーを組む工夫、実施しながらも検査順を考えること、結果のまとめからフィードバックの仕方までの一連の作業が大切になります。そのひとつひとつの基礎教育は大学から大学院にてカリキュラムに組み込まれているでしょう。しかし、現場での実践経験によって、これらの統合の困難さに突き当たります。そこで重要なのが、心理アセスメントのスーパーヴィジョンや研修会での参加・発表となります。一方で、まだ研修を積み重ねていきたいと考えている若手の臨床家が、現場で新人指導に当たることも想定されます。本コースでは、ライブスーパーヴィジョンを通して、現場の指導者を含むスーパーヴァイザーとスーパーヴァイジー双方を対象に研修機会を提供したいと思います。事例をもとにした細かなやりとりから、指導者としての在り方、現場での実地指導者としての工夫について、学びを深めて頂けるように進めていきます。

B 菅藤健一先生（福島学院大学）：「犯罪・非行臨床における心理査定」

事例提供者からは犯罪・非行事例を提供いただいて、そのプロトコルの特徴について検討いたします。また、犯罪・非行臨床におけるロールシャッハテスト活用の現状と今後の方向性についてフロアの方々と討議したいと思います。

C 吉村聡先生（上智大学）：「力動的理解にもとづくロールシャッハ法」

ロールシャッハ法は情報の宝庫です。しかし、とりわけ初学者の解釈や所見には、解釈が一面的になったり、膨大な情報を活かしきれなかったり、ロールシャッハ用語で記述しただけなどの例が散見されます。この分科会では、精神分析的な考えを背景にもつことで、ロールシャッハ法を通して統合的に事例を理解するための視点を学びます。ロールシャッハ体系は片口法・馬場法・包括システムのいずれかに拠る予定ですが、これ以外の方のご参加も歓迎します。

◇全体会ミニレクチャー◇

講師：加藤志ほ子先生（南青山心理相談室）：「ロールシャッハ検査の所見の書き方」

司会：吉村聡先生

心理臨床の領域で、心理検査による査定業務は大切な役割があります。とくに「ロールシャッハ検査の所見の書き方」は、依頼された医師、心理面接担当者、他職種などとのクライアント理解を共有する大切なツールとなります。サマリーの主要な数値と、反応語などから、どのような理解をしたかわかるように記述し、その有り様を病態水準と継なげて報告できると臨床場面で役に立つ報告書になるのではないのでしょうか。どういう反応語から、自分がどういう理解をしたかを、わかるように書ける工夫について考えていきたいと思えます。

◇定員：120名（各分科会コース40名程度 先着順）◇

受講資格：「臨床心理士」もしくは「公認心理師」有資格者、臨床心理学や精神医学を専門とする専門職、または臨床心理学の大学院生で守秘義務を課せられている方。なお、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイント（2ポイント）が認められています。臨床心理士有資格者で、研修条件を満たした方には、研修証明書を配布いたします。

◇参加費◇

・日本ロールシャッハ学会 正会員 6,000円／非会員 7,000円 ・大学院生 2,000円

◇参加申し込み方法◇

右のQRコード (<https://00m.in/pCWuv>) から Google フォームにアクセスしてお申し込み下さい。申込期間は、2024年10月19日(土)から2025年4月18日(金)です。各コースの受付は先着順となります。ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。



参加費振込口座は分科会決定後にメールにてお知らせします。2025年1月末頃を予定しております。ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。尚、振込手数料は、振込者の負担にてお願いいたします。申込者の都合によるキャンセルでの返金はいたしません。

◇当日の受付について◇

メールにてお送りする「参加者章」を印刷してお持ちください。ネームホルダーは会場にご用意しております。受付は各分科会会場教室前に行います。分科会会場は当日掲示にてご確認ください。

◇昼食◇

会場1階にTFU Cafeteria Oliveがありますが席数が限られています。飲み物の自動販売機は会場1階フロアにあります。会場周辺にはコンビニ・飲食店があります。昼食は研修会会場教室でお召し上がりいただけます。

◇クローク◇

クロークを設けますが、お預かりできる量的な制限がございます。あらかじめご了承ください。なお、貴重品および傘のお預かりはできません。

◇宿泊◇

当日は青葉まつりが予定されています。混雑が予想されますので各自早めにご対応ください。

◇アクセス◇

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
仙台市宮城野区榴岡2丁目5-26
JR仙台駅 東口から徒歩3分
JR仙台駅 出入口1からすぐ
地下鉄東西線「宮城野通駅」徒歩3分



◇問い合わせ先◇

第17回ロールシャッハ研修会準備委員会 (rorschach.sendai2025@gmail.com)